

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は決算報告時に記載（配付申請時は記載不要）

【様式1】

令和8年度 校長経営戦略支援予算学校配付配付申請書

(校園コード)

※校園コードを必ず入力してください。

取組に対する評価状況

学校名

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 円 → 決算額

2 配付上限額

学校配当	350,000	+	学級数	9学級	+	特別支援学級及び通級による指導の開設校(1開設1学級とみなす)	6学級	×	学級配当	29,000
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。										
配付上限額	= <input type="text" value="785,000"/>									

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

- ①学習者用端末を活用して、「自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- ②前年度不登校生徒の改善の割合を、昨年度よりも向上させる。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

- ①普通教室への大型モニタの設置などの環境整備を行うとともに、授業での効果的な活用を進める。
- ②生徒の学校適応感を図るアセスメントツールの導入や、スペシャルサポートルームの環境整備を実施する。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

- ①生徒アンケートにおける「ICT機器の効果的活用」について、昨年度実績(38.8%)を上回る。
- ②不登校生徒の居場所づくりと学習支援を両立させ、不登校率の低減を図る。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

- ・端末の持ち帰り、不登校(傾向)生徒への受け入れ態勢を改善し、以前に比べ不登校の割合は改善傾向であるが、依然として本校の継続課題である。
- ・今年度より開設する校内教育支援センターを最大限活用し、COCOLOプランに基づいた学びの環境を整える。
- ・学習者用端末の効果的な活用やスタディサプリの導入、探究学習を授業で実施することで、生徒への興味付けを図り、自己有用感の向上に努めた。今年度はこの運用をさらに拡げる。
- ・非認知能力の向上のために教職員研修や生徒へのアセスメントを実施し、レジリエンスの向上にも努める。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

<p>(1)取組内容【基本的な方向番号、名称】 【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 ・スペシャルサポートルームの環境整備 ・学校適応感尺度を図るアセスメントツールの実施と検証 ・非認知能力の向上に向けた教職員研修の実施</p>	達成
<p>①予算内訳 07-01 教職員研修にかかる講師謝礼金 @7,100×4=28,400円 小計28,400円 10-01 ウォールグリーン @4,000×5=20,000円 木製レターボックス @4,150×4=16,600円 小計36,600円 合計65,000円</p>	
<p>②決算内訳</p>	
<p>(2)取組内容【基本的な方向番号、名称】 【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)】 ・普通教室の大型モニタの設置などの環境整備 ・ICT機器や各種ツールの効果的な活用</p>	達成
<p>①予算内訳 10-01 壁掛け取付金具 @25,000×8=200,000円 小計200,000円 17-02 液晶ディスプレイ @65,000×8=520,000円 小計520,000円 合計720,000円</p>	
<p>②決算内訳</p>	
<p>(3)取組内容【基本的な方向番号、名称】</p>	達成
<p>①予算内訳</p>	
<p>②決算内訳</p>	

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。